

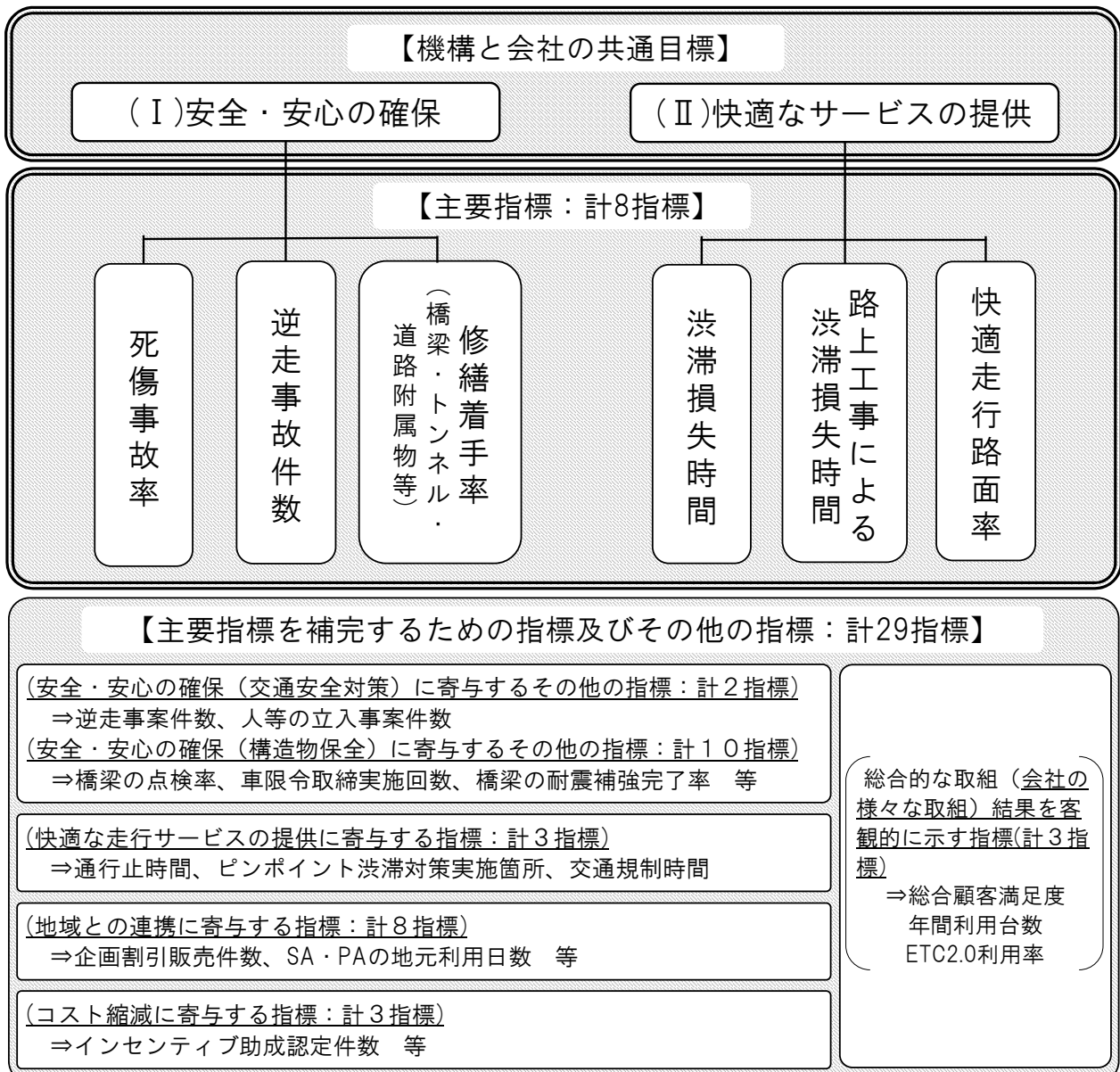
令和3年度（2021年度）アウトカム指標の実績と目標（高速道路会社情報の総括）

1. アウトカム指標の目的と主要指標について

(1) アウトカム指標の目的

- ・ 機構は会社と連携し、会社の「高速道路の安全性及び利便性の向上」に資するため、また、「高速道路の状況をお客様に分かり易く示す」ための指標として会社共通の客観的指標（アウトカム指標）を設けています。
- ・ 現在、37個の指標を設けていますが、その中でも機構と会社の共通目標である「(I)安全・安心の確保、(II)快適なサービスの提供」に係る主要な指標分類を(2)のとおりに定めています。
- ・ 指標分類毎に目標値(内、一部は計画値)を設定し、高速道路事業に計画的に取り組むことで、「高速道路のサービス向上」に努めていきます。

(2) 機構と高速道路会社の共通目標とアウトカム指標の体系(主要指標)



当公表資料には、各アウトカム指標分類において、令和4年度の目標値を記載しておりますが、これらは新型コロナウイルス感染症による影響等について9月末時点での情勢等を勘案して策定したものです。新型コロナウイルス感染症による感染予防策の一環として、今後更なる移動の自粛等が行われた場合などには、高速道路事業にも、多大なる影響を及ぼすことが予測されます。そのため、状況によって、会社が設定した目標の達成が困難となる可能性があります。

アウトカム指標を活用して高速道路の状況をより分かり易くお知らせするための令和4年度の取り組み

1. アウトカム指標の目的

- ・ 機構と各高速道路会社（以下「会社」という。）が連携し、会社の「高速道路の安全性及び利便性の向上」に資するため、また、「高速道路の状況をお客様に分かり易く示す」ための指標として会社共通の客観的指標（アウトカム指標）を37指標設けています。
- ・ 指標分類毎に目標値を設定し、高速道路事業に計画的に取り組むことで、より一層の「高速道路のサービス向上」に努めていきます。

2. ーアウトカム指標ー 中期目標（令和7年度）の設定

機構の中期計画（第5期）の開始に伴い、会社が自らの経営指標として計画的に取り組むことを促し、高速道路の管理水準を一層向上させるとともに高速道路利用者に対するサービスの向上を図ることを目的とし、新たな中期目標値（令和7年度）を設定します。

3. 令和4年度の取り組み

アウトカム指標を活用して高速道路の状況をより分かり易くお示しするための工夫として、令和4年度は以下の取り組みを進めています。

- ① 「死傷事故をへらす」、「渋滞をへらす」などの目的達成に向けた会社の取り組みの現状や効果を明確に把握出来る様に、関連する指標を目標値管理する指標（主指標）と実績値の把握により主指標を補完する指標（従指標）に再編しました。
- ② 目標達成した指標を廃止しました
 - ・ 「ガソリンスタンドの空白区間（150km超区間）」の解消を達成。
 - ・ 「一般道からSA等への歩行者出入口設置数」は令和2年度概成。

◇取り組み内容①～②の具体は次ページ以降のとおり。

令和4年度の取り組み内容

①・②分かり易い指標への体系化

【従前までの指標の体系】

【目的別に指標分類を再編した後の体系】 (朱文字:新指標 青文字:見え消し:廃止)

柱	No	指標分類	
柱		主指標(目標値設定)	実績のみ把握
I-1. 安全・安心の確保(交通安全対策)			
【死傷事故をへらす】			
	1	死傷事故率	
	2	ガソリンスタンドの空白区間	
【人の立入をへらす】			
	3	人等の立入事案件数	
【逆走事故をなくす】			
	4	逆走事故件数	
	5	逆走事案件数	
I-2. 安全・安心の確保(構造物保全)			
【構造物を安全に安心して使い続ける】			
	6	修繕着手済橋梁数	
	7	橋梁の点検率	
	8	修繕着手済トンネル数	
	9	トンネルの点検率	
	10	修繕着手済道路附属物等数	
	11	道路附属物等の点検率	
【構造物に悪影響を及ぼす違反をなくす】			
	12	(車限令)取締実施回数	
	13		(車限令)引込み台数
	14		(車限令)措置命令件数
	15		(車限令)即時告発件数
【地震に強い道路をつくる】			
	16	橋梁の耐震補強完了率	
II. 快適な走行サービスの提供			
【渋滞をへらす】			
	17	渋滞損失時間	
	18	通行止時間(事故・工事・災害に伴う交通規制時間)	
	19	ピンポイント渋滞対策実施箇所	
【路上工事の渋滞を最小化する】			
	20	路上工事による渋滞損失時間	
	21	交通規制時間	
【走りやすい道路を維持する】			
	22	快適走行路面率	
III. 地域との連携			
【地域振興に貢献する】			
	23	(企画割引)販売件数	
	24	(企画割引)実施件数	
【地域に施設を開放する】			
	25	SA・PAの地元利用日数	
	26	一般道からSA等への歩行者出入口設置数	
【道路空間を地域に開放する】			
	27	占用件数	
	28	道路占用による収入	
【資産を有効活用する】			
	29	入札占用件数	
IV. コスト縮減			
【新技術の活用などによるコスト縮減を続ける】			
	30	インセンティブ助成認定件数	
	31		インセンティブ助成交付件数
	32		インセンティブ助成交付額
V. 総合的な取組の推進			
【サービスの向上に努める】			
	33	総合顧客満足度	
【利用者を増やす】			
	34	年間利用台数	
【ETC2.0の普及を促進する】			
	35	ETC2.0利用率	

分かり易い指標への体系化			
柱	No	主指標(目標値設定)	従指標(実績のみ把握)
I-1. 安全・安心の確保(交通安全対策)			
【死傷事故をへらす】			
	1	死傷事故率	
	-		ガソリンスタンドの空白区間
【人の立入をへらす】			
	2	人等の立入事案件数	
【逆走事故をなくす】			
	3	逆走事故件数	
	4		逆走事案件数
I-2. 安全・安心の確保(構造物保全)			
【構造物を安全に安心して使い続ける】			
	5	橋梁修繕着手率	(着手済数/要対策数)
	6	トンネル修繕着手率	(着手済数/要対策数)
	7	道路附属物等修繕着手率	(着手済数/要対策数)
	8		修繕着手済橋梁数・要対策数
	9		橋梁の点検率
	10		修繕着手済トンネル数・要対策数
	11		トンネルの点検率
	12		修繕着手済道路附属物等数・要対策数
	13		道路附属物等の点検率
【構造物に悪影響を及ぼす違反をなくす】			
	14	(車限令)取締実施回数	
	15		(車限令)引込み台数
	16		(車限令)措置命令件数
	17		(車限令)即時告発件数
【地震に強い道路をつくる】			
	18	橋梁の耐震補強完了率	
II. 快適な走行サービスの提供			
【渋滞をへらす】			
	19	渋滞損失時間	
	20		通行止時間(事故・工事・災害に伴う交通規制時間)
	21		ピンポイント渋滞対策実施箇所
【路上工事の渋滞を最小化する】			
	22	路上工事による渋滞損失時間	
	23		交通規制時間(路上工事に伴う交通規制時間)
【走りやすい道路を維持する】			
	24	快適走行路面率	
III. 地域との連携			
【観光振興に貢献する】			
	25	(企画割引)販売件数	
	26		(企画割引)実施件数
	27	(企画割引)販売件数 (観光施設とのセット販売)	
【地域に施設を開放する】			
	28	SA・PAの地元利用日数	
	-		一般道からSA等への歩行者出入口設置数
【道路空間を地域に開放する】			
	29	占用件数	
	30		道路占用による収入
【資産を有効活用する】			
	31	入札占用件数	
IV. コスト縮減			
【新技術の活用などによるコスト縮減を続ける】			
	32	インセンティブ助成認定件数	
	33		インセンティブ助成交付件数
	34		インセンティブ助成交付額
V. 総合的な取組の推進			
【サービスの向上に努める】			
	35	総合顧客満足度	
【利用者を増やす】			
	36	年間利用台数	
【ETC2.0の普及を促進する】			
	37	ETC2.0利用率	